

職場内での掲示・回覧をお願いいたします。

全国健康保険協会 静岡支部  
協会けんぽ

### 正しくかかるために知っておきたいこと

#### 整骨院・接骨院

#### はり・きゅう

#### あんま・マッサージ

##### 整骨院・接骨院

骨折や脱臼、打撲・捻挫・挫傷（肉離れ等）といった負傷を、外科的な手段（注射や投薬等）によらず施術によって改善します



##### 施術を受ける際に注意すること

###### ✔ 負傷の原因を正しく伝えましょう

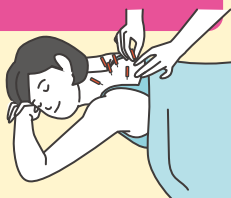
何が原因で負傷したのか、正確に話しましょう。外傷性の負傷でない場合や負傷原因が労働災害・通勤災害に該当する場合は健康保険が使えません。また、交通事故などの「第三者行為」に該当する場合は、施術を受ける前に協会けんぽまでご連絡ください。

###### ✔ 治療が長引く場合は一度医師の診断を受けましょう

長期間治療を受けても快方に向かわない場合は、内科的要因も考えられますので、一度医師の診断を受けましょう。

##### はり・きゅう

医師による適当な治療手段がない慢性病等に対して、鍼や灸を施すことで機能回復を促し、症状を緩和・改善します



##### あんま・マッサージ

筋麻痺・関節拘縮等への緩解措置や関節可動域の拡大等を目的として、指圧やマッサージを施し、症状を改善します



##### 施術を受ける際に注意すること

###### ✔ 定期的に医師の同意が必要です

健康保険を使って継続してはり・きゅう、あんま・マッサージの施術を受けるには、6か月ごとに文書による同意が必要です。医師の同意のない施術は健康保険の対象となりません。

###### ✔ 医療機関との併用での施術は認められません はり・きゅうのみ

医師による適当な治療手段がない場合に限り、はり・きゅうの施術が健康保険の対象となります。そのため、はり・きゅうの施術を受けながら、並行して医療機関で同じ傷病の診療・投薬（湿布等の貼付薬を含む）を受けた場合、はり・きゅうの施術は健康保険の対象となりません。

#### 加入者の皆さまへのお願い

健康保険の適正な運営のために、電話または文書で負傷原因、施術年月日、施術内容などを照会させていただくことがございます。照会があった際には必ずご自身で回答書をご記入いただきますようお願いいたします。

金額等の確認が必要となりますので、領収書は必ず受け取り、大切に保管しましょう！



# ジェネリック医薬品

## 使っていますか？



### ● ジェネリック医薬品ってどんなお薬？

ジェネリック医薬品とは、従来の先発医薬品と品質・効き目が同等であると国が認めたお薬です。先発医薬品の特許期間が過ぎた後に開発されるため低価格であり、中には服用しやすい味の改良や小型化といった工夫が施されているものもあります。

### ✂ 従来のお薬（先発医薬品）よりも服用しやすい



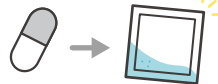
#### 小型化

薬の大きさを小さくして飲みやすく



#### 苦みをコーティング

苦みやおいをコーティングして飲みやすく



#### 剤形の改良

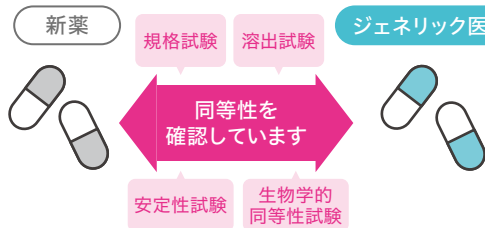
薬の形を変更して飲みやすく



#### 水なしでも飲める

小さな子どもや高齢者にも飲みやすく

### ✂ 厳しい試験をクリアしているから安心

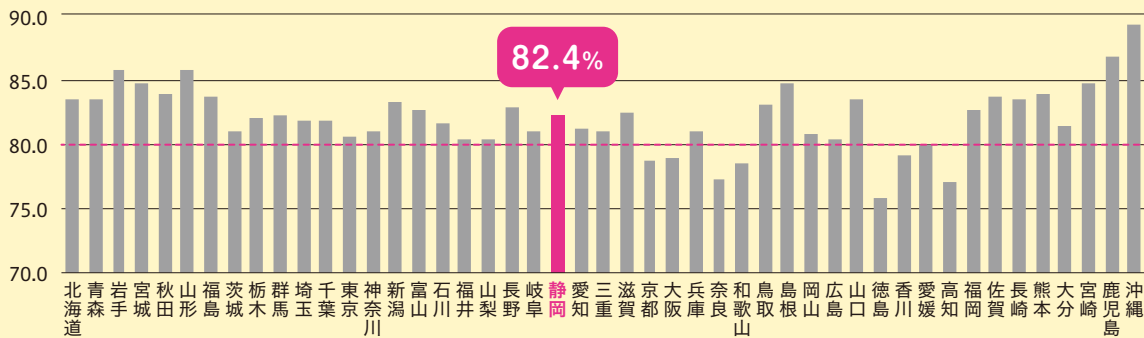


- 規格試験 …… 有効成分の純度や量を確認する試験
- 溶出試験 …… 新薬と同じように体内で溶けるかを確認する試験
- 安定性試験 …… 品質が温度や光などに影響されず、長期に保存しても変化が出ないかどうかを確認する試験
- 生物学的同等性試験 …… 新薬と同じ速さで同じ量の有効成分が体内で吸収されるかを確認する試験

出典：日本ジェネリック製薬協会HP

### 協会けんぽにおけるジェネリック医薬品の使用状況

都道府県別ジェネリック医薬品使用割合（数量ベース）



※令和5年3月時点

医療費の適正化および加入者の皆さまの自己負担の軽減を目的として、協会けんぽではジェネリック医薬品の使用を促進しており、静岡県支部ではすでに8割以上の方がジェネリック医薬品を使用しています。



ジェネリック医薬品の使用はインセンティブ制度の評価指標のひとつであり、皆さまのお薬代の負担軽減だけでなく、保険料率の引き下げにもつながる重要な取組です。この機会にぜひ、ジェネリック医薬品への切り替えをご検討ください。

ジェネリック  
医薬品について  
詳しくはこちら



### ジェネリック医薬品に切り替える場合の注意点

ジェネリック医薬品は先発医薬品と主成分は同じですが、添加剤等の違いにより副作用に個人差が出る場合がございます。ジェネリック医薬品への切り替えを希望される方は、医師または薬剤師とよくご相談ください。

また、現在一部のジェネリック医薬品につきまして、供給不足や欠品が生じており、切り替えが難しい場合もございます。